

名古屋支部

(株)ブリヂストン彦根工場と 日本電気硝子(株)滋賀高月事業所を視察

名古屋支部(新美三良支部長)は、平成28年3月3日(木)に支部会員21名が参加し、(株)ブリヂストン彦根工場と日本電気硝子(株)滋賀高月事業所を視察しました。

これまでの視察研修先は、同業種の産業廃棄物処理会社が多かったことから今年は目先を変え、製造会社の視察研修を企画しました。

午前中は、世界のトップ企業である(株)ブリヂストン彦根工場を見学させていただくことができました。



世界最大級のタイヤの前で記念写真

工場到着後、直径が4m重量が5tもある世界最大級のタイヤ(露天掘り鉱山で使用されるダンプのタイヤ)の前で早速記念写真を撮り、研修室で総務・環境保全課長の渡邊実千夫氏から、会社の概要説明とタイヤの製造工程の説明をしていただきました。その後生産工場に移動し、原料の受け入れから幾つもの工程と厳しい全数検査を経て、実際にタイヤができるまでを視察させていただくことができました。

彦根工場では、三交代で数十種類のタイヤが一日に53,000本も製造され、その一本一本が全数ベテラン従業員による目視検査が行われており、品質管理への万全の姿勢に驚きの声があがりました。

また質疑の中で、新車装着タイヤと市販タイヤとの違いについての質問では、新車の開発段階から自動車メーカーと連携して、自動車の性能を最大限に引き出すことができるよう高性能なタイヤを開発しており、販売店で新車装着タイヤを注文すれば、少し高いが購入することができるとのことでした。



渡邊実千夫課長による説明

午後は、特殊硝子の製造で世界トップクラスの技術を持つ、日本電気硝子(株)を見学させていただくことができました。



餐場弘樹課長による説明

工場到着後、研修室でディスプレイ事業部総務担当課長の餐場弘樹氏から、会社の概要説明と特殊ガラスの製造方法等について、丁寧な説明をいただきました。次に生産工場に移動し、特殊ガラスが作られる工程を見学することができました。

特に、スマートフォンの液晶ディスプレイに使われている超薄板ガラスや、無反射ガラスの先進製造技術に驚きの連続でした。

今回の視察研修に参加し、全員が貴重な知見を得たことを感謝し帰路につきました。